

総合型地域スポーツクラブ まちづくりにつながる連携事例

山形大学地域教育文化学部

総合型地域スポーツクラブ 村山地区協議会

- ・「地域社会の振興と発展、人材育成に寄与する」ことを目的に、平成27年度より総合型地域スポーツクラブ村山地区協議会と山形大学地域教育文化学部間で連携をし、平成28年度、山形大学において正式に協定を締結する。大学から学生の指導者派遣を行っている。今年度は、6クラブが連携事業を実施した。
- ・年間、平均10回程度の実施。(クラブによっては最大38回実施)指導時間は1回1～3時間。内容は、球技、体づくり運動、陸上、水泳、リズム体操、器械運動、サッカー親子スポーツ教室、キッズダンス等多種目にわたり、指導及び補助を行う。派遣学生数各1～5名。
- ・謝金は各クラブで支払う。学生の保険料は実施クラブが総額の半分、協議会が半分支払う。



大蔵村教育委員会、大蔵村体育協会 大蔵村観光協会、肘折地区 肘折温泉旅館組合、肘折温泉商店組合

Oh! 蔵SPORT

- ・旧肘折小中学校雪上運動会の伝統種目だった「地面出し」を閉校後に肘折地区の青年団と協同して引き継ぎ、2010年から「地面出し競争World Cup in 肘折」と銘打って開催している。
- ・村教委、村体協から会場や賞品、参加賞等の資金面での協力をもらい、Oh! 蔵SPORTが主催となって企画や準備、当日の運営を行っている。村外からの参加者増に伴い、観光協会、肘折地区、肘折温泉旅館組合、肘折温泉商店組合より交流会に必要な会場や資金等の協力をもらう。
- ・村外参加者に掘り方レクチャーや前夜祭を開催。また、ソリ滑りの距離でフィールドを選んだりシード権を設けたり参加者が増えるような工夫を行っている。



米沢市(教育委員会)

米沢市総合型地域スポーツ クラブ連絡協議会

- ・米沢市民のスポーツや健康に関わる様々な課題を市内4つの総合型地域スポーツクラブが連携や協働の事業により解決することを目指して平成28年7月協議会を設立した。
- ・親子参加の運動体験や高齢者の健康づくりなど全市民を対象とした公益活動を通してまちづくりに貢献しようと考えている。
- ・初年度は子どもたちの体力不足を課題として捉え、県教育委員会による事業を市教育委員会と共催で「放課後子ども運動教室」を実施した。
- ・11～12月週2回、合計8回の教室を市体育館で計画。全小学校から児童の募集を行い、30名の参加があった。
- ・各クラブ指導者の遊びを取り入れた運動指導により、子どもたちは楽しみながら体力を向上させることができた。



酒田市

NPO法人元気王国

- ・「酒田みなとカヤックツーリング」を酒田市の「みなとオアシスまつり」のイベントのひとつとして位置づけ酒田市商工港湾課及び港湾振興会より助成金をもらい実施している。海上保安庁、国土交通省酒田港湾事務所、山形県港湾事務所、山形県、酒田市から後援をもらっている。
- ・酒田の歴史的建造物などを水面から見上げながら、港から新井田川をカヤックでツーリングする。酒田の歴史的建造物や人物などの説明を聞きながら新井田川をカヤックでツーリングする。酒田市のまちづくりの歴史は北前船の海運にあり、湊町酒田の歴史を学ぶことは現在のまちづくりにつながる。
- ・最近では、学校PTA行事等での開催依頼がある。

